



敷島南小学校
学校便り NO.24
令和 6年2月
学校長 五味 正年

平和学習（平和について考える）

「平和とは何ですか？」と子どもに問われた時、どのように応えますか？辞書には、『「やすらかにやわらぐこと。おだやかで変わりのないこと」と「戦争がなくて世が安穏であること」』と書かれています。

6年生が、総合的な学習の時間に「平和について考えよう」というテーマで学習を始め、4月からこれまで約1年かけて学んできました。その集大成として、2月9日に発表会を開き、「平和」について5年生に伝えることにしました。

スタートは、修学旅行で見学をする第五福竜丸の学習をしたことがきっかけでした。その後、かつて日本が戦争をしていた時のことを学んだり、戦後の暮らしを学んだり、今世界で起こっている争いについて学習したりすることで、深く平和について考える機会をもってきました。

発表会では、これまでの学習を基に、6年生の平和に対する思いを知ることができました。また、6年生一人ひとりが素晴らしい発表を行い、その発表を聞いた5年生も「平和」を考えるきっかけになり、次へのステップになったのではないかと思います。

<6年生の意見>

・もともと戦争などは、最初は「詳しく調べる意味があるのかな？」と思っていたけれど、調べている間に調べたことも知れたし、知らなかったことも知れたし、知識も増えたので改めて「調べる」と言うことは意味があるということがわかりました。（中略）どの時代でも、世界では争いが起きていて、今も起きている。いつ日本が攻撃されるかわからない中で、過去の日本で起きた戦争の被害を世界にも発信して、少しでも争いがなくなるといいと思いました。

・（前略）普通に暮らしたり、食べ物を食べたりしているというのは、あたり前でないことを改めて思いました。

この学習をしている時、私は、ロシアとウクライナが戦争をしているのを見て、学習をする前は戦争がどれだけ大変なのか知らなかったから、興味がありませんでした。でも、この学習をした時、ロシアとウクライナの戦争が早く終わってほしいと思いました。



・この学習を通して、僕は、いろいろなことを学びました。他の人の発表を聞いて、考え方が変わりました。平和は、「当たり前なものではない。」そう考えました。この考えをこれからも意識して、「平和」という当たり前でないものに、感謝の意をしっかりと持って生きていこうと思いました。

・(前略)自分は、実際に戦争を経験していないため、どれだけ苦しいのかわからなかったけど、ネットでどんどん検索していくうちに、自分も苦しくなりました。(後略)

・(前略)自分が平和について考えたことがたくさんあり、それを5年生に伝えて、5年生が真剣に聞いてくれて、平和の大切さをよく学んでくれたのでよかった。今日の発表は成功したとはいえないけど、自分の伝えたいことは伝えられたのでよかったです。

・私の今日の発表でよかったところは、5年生に興味を持ってもらえたところです。今日の発表で、私は、正直、不安でした。情報が足りなかったんじゃないか、もう少し詳しく書いた方がよかったんじゃないかと。でも、5年生は真剣な目で発表を見て、聞いてくれていて緊張が解けました。(後略)

<5年生の感想>

・平和は、大切なことだと改めて知りました。原爆もそうだし、戦争などはたくさんの人の命や幸せ、思い出なども奪ってしまうから、これからは自分にできることをしていこうと思いました。

・戦争のせいで、当たり前の日常やいつもの食事ができなくなってしまうことがわかり、もう絶対に戦争を繰り返してはいけない思いが強くなりました。

・今回、話を聞いて、僕たちでもできることを知り、「それに取り組みたいな。」と思いました。また、戦争のことを知って、家族に今日知ったことを教えようと思いました。

・6年生の堂々とした姿を見て、僕も、来年6年生みたいになりたいと思いました。そして、あんなにも、かまずに喋れるなんて、すごいと思いました。

この学習を終えて、6年生が伝えたいことや5年生が感じたことなどをお互いに共有できたことは、とてもよい学習になったと思います。

発表が終わった後、私も、6年生の一人に「この発表資料を作るのに、どのように調べ、どのくらいの時間がかかりましたか？」とインタビューをすると「①本やインターネットを使い調べました。②総合の時間や休み時間、お家でも考え、作りました。授業では10時間以上かかっていると思います。」と応えてくれました。

今回、とても立派な資料ができており、全校でも共有できる機会をつくりたいと考えています。この資料を見て、戦争について知り、平和のことを考える子どもが1人でも増えていってくれることを願います。

